

第2回地区代表者会議 兼 第18回三原市民体育大会 種目・競技方法説明会

令和8年7月15日(水)19:00～

三原市中央公民館 大講堂

1 開 会

2 議 題

(1) 前回大会からの変更点の説明・・・資料1

(三原市スポーツ振興課から説明)

(2) 種目・競技についての説明・・・資料2

(三原市スポーツ推進委員協議会、三原市陸上競技協会から説明)

(3) 第18回三原市民体育大会の選手名簿・開会式地区紹介メッセージについて・・・資料3

9月18日(金)までに提出してください

(3) 連絡事項

第3回地区代表者会議 兼 第18回三原市民体育大会抽選会

令和8年8月27日(木) 19時～

三原市役所 3階 304・305・306 会議室

(4) 今後の予定

①第18回三原市民体育大会

令和8年10月11日(日) 9時～ やまみ三原運動公園 陸上競技場

3 そ の 他

問い合わせ先

〒723-8601

三原市港町三丁目5番1号

三原市教育委員会 スポーツ振興課 亀谷

TEL 0848-64-7219 FAX 0848-67-5912

E-mail: sports@city.mihara.hiroshima.jp

現行					
No.	種目	男女別	年齢	人数	開始予定時刻
開会式					9:00
☆	幼児かけっこ (オープン競技)	男女	小学生未満	10人以内	9:50
1	小中学生混合リレー	男女	小学生	各2人	10:05
			中学生	各2人	
2	ジグザグボール蹴り競争	男女	小学生 (学年問わず)	2人	10:20
		女	20歳以上	2人	
3	ラグビーボール蹴り競争	男	40歳以上	4人	10:35
4	ゲートボール、 グラウンド・ゴルフ競争	男女	60歳以上	各3人	10:50
5	400mリレー	男	20歳以上	各2人	11:15
			40歳以上		
☆	フライング・ディスク (オープン競技)	なし	なし	1人	11:30
昼休憩					
6	玉入れ競争	男	年齢制限なし	8人 竿持ち2人	13:00
		女	年齢制限なし	8人 竿持ち2人	
7	ボール運び競争	男	60歳以上	3人	13:30
		女	50歳以上	3人	
8	二人三脚競争 むかで競争	男女	20歳以上	各3人(3組) 各5人(2組)	13:45
9	ボウリング競争	女	20歳以上	8人	14:00
10	総合リレー	男女	小学生 (学年問わず)	各2人	14:25
		男女	中学生 (学年問わず)	各2人	
		男女	16～30歳未満	各2人	
		男女	30～50歳未満	各2人	
		男	50歳以上	2人	
		計		18人	
閉会式					15:00

参加人数合計	96人	
--------	-----	--

→

変更後					
No.	種目	男女別	年齢	人数	開始予定時刻
開会式(入場行進廃止)					9:00
☆	幼児かけっこ (オープン競技)	男女	小学生未満	10人以内	9:35
	—				
1	ジグザグボール蹴り競争	なし	小学生 (学年問わず)	2人	9:50
		女	20歳以上	2人	
2	ラグビーボール蹴り競争	男	40歳以上	4人	10:05
3	ゲートボール、 グラウンド・ゴルフ競争	男女	60歳以上	各3人	10:20
		※合計6人のうち小学生2人まで(男女問わず) 参加可能			
4	400mリレー	男	30歳未満	各2人	10:45
			30歳以上		
☆	フライング・ディスク (オープン競技)	なし	なし	1人	11:00
(昼休憩なし)					
5	玉入れ競争 ※全クラス同時実施	男	年齢制限なし	8人 竿持ち2人	11:20
		女	年齢制限なし	8人 竿持ち2人	
6	ボール運び競争 ※トラックからフィールドに変更	男	60歳以上	3人	11:40
		女	50歳以上	3人	
		※合計6人のうち小学生2人まで(男女問わず) 参加可能			
7	二人三脚競争	男女	20歳以上	各2人(2組)	11:55
	むかで競争			各5人(2組)	
8	ボウリング競争	女	20歳以上	8人	12:15
			※合計8人のうち20歳未満2人まで参加可能		
9	総合リレー	男女	小学生 (学年問わず)	各2人	12:30
		男女	中学生 (学年問わず)	各2人	
		男女	16～30歳未満	各2人	
		男女	30～50歳未満	各2人	
		男	50歳以上	2人	
		計		18人	
閉会式					12:50

→

参加人数合計	90人	
--------	-----	--

開催要項変更点

1 リレー競技の統一ルール

改 正 後	現 行
(8) コース内側にコーンを配置する。原則、コース内側のラインを踏み超えても失格とならないが、過度なラインの踏み越えやコーンに接触があれば失格となる場合がある。 (9) 次の場合は失格とする。 ハ. バトンを手渡さなかった場合。ただし、バトンパスの途中で落とした際に、バトンを投げて渡した等、明らかに故意的な違反でない限り、どちらがバトン拾っても良い。 ニ. バトンパスの最中に、次走者の手にバトンが触れる前に渡そうとした走者がバトンを落とし、次走者がバトンを拾って走った場合。	(9) 次の場合は失格とする。 ハ. バトンを手渡さなかった場合。 ニ. バトンパスの最中に、次走者の手にバトンが触れる前に渡そうとした走者がバトンを落とし、次走者がバトンを拾って走った場合。

2 共通ルール

改 正 後	現 行
(5) ルールから逸脱したとき、そのチームが著しく優位にならないと判断した場合は、失格としない。	

3 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ競争

改 正 後	現 行
○競技方法 <u>* 注意 走る順番は各地域の自由</u> (6) 打者はゲートを通過後、ホールインするまで、手でボールに触れてはならない。<u>ボールポストにボールが入った後はステイ</u>	(6) 打者はゲートを通過後、ホールインするまで、手でボールに触れてはならない。

<u>ックで止めても良い。</u> ホールインとは、ホールポスト内で完全にボールが停止した状態をいう。まだ動いている状態で、ボールを拾い上げてはならない。 (7) スタート順は、女子・男子の順番に競技する。順番の間違いは失格とする。	ホールインとは、ホールポスト内で完全にボールが停止した状態をいう。まだ動いている状態で、ボールを拾い上げてはならない。 (7) スタート順は、女子・男子の順番に競技する。順番の間違いは失格とする。
--	--

5 玉入れ競争

改 正 後	現 行
(12) 競技エリアには、 <u>補助者を除き</u> 、選手10名以外は入ってはいけない。	(12) 競技エリアには、選手10名以外は入ってはいけない。

6 ボール運び競争

トラック競技からフィールド競技に変更

改 正 後	現 行
開催要項のとおり	

7 二人三脚むかで競争

改 正 後	現 行
(10) ゴールの位置はスタートと反対側とする。	(10) ゴールの位置はスタートと反対側とする。

表彰

改 正 後	現 行
<u>9 表 彰</u> (1) 地区対抗クラスの部 (A・B・C) 各クラスごとに) ・ 1位 カップ・賞状・楯・賞金 ・ 2位 賞状・楯・賞金 ・ 3位 賞状・賞金	<u>9 表 彰</u> (1) 地区対抗クラスの部 (A・B・C 各クラスごとに) ・ 1位 カップ・賞状・楯・賞金 ・ 2位 賞状・楯・賞金

参加選手

改 正 後	現 行
(7) 参加人数が揃わない地区については、 事務局へ相談の上、 その地区へゆかりのある人及び家族の参加を認める。	(7) 参加人数が揃わない地区については、事務局へ相談の上、その地区へゆかりのある人及び家族の参加を認める。

注意事項

改 正 後	現 行
(1) 選手名簿は年齢及び性別のみとする。 (7) 選手の失格を予防するための補助者の出場を2名以内で出場可能とする。補助者は、競技場内で、自地区の選手に対し、ルール違反を防ぐための声かけを行うことができる。ただし、競技中、故意に競技道具に触れて競技に関わった場合や、その他の地区が不利になるような行為があった場合は、該当地区を失格とする。 補助員を設けることは任意とする。なお、声かけの結果、競技に違反が起きた場合は失格となる場合がある。	(1) 選手名簿を作成するので、締切期日を厳守のこと。

個別参加について

【目的】

市民体育大会に関わったことがない方に対し、大会への参加機会を提供し、大会に触れ、今後の大会出場者の増加につなげる。

【周知方法】

9月広報及び三原市ホームページに掲載。

【参加種目】

- ・ 幼児かけっこ（オープン競技）
- ・ ジグザグボール蹴り競争
- ・ ラグビーボール蹴り競争
- ・ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ競争
- ・ 400mリレー
- ・ フライングディスク（オープン競技）

【必要人数及び性別】

市民体育大会要項と同様の要件。

【参加条件】

10月11日（日）時点で三原市内にお住まいの方で、上記記載の【必要人数及び性別】を満たす参加者を集めること。

【注意事項】

- 応募多数になった場合は、抽選とする。結果は後日、応募の代表者にメールもしくは電話で連絡。
- ★抽選にもれた方が、参加者が不足する地区だった場合は、応募者の了承のもと、各地区代表者に連絡し、参加を促す。
- 地区の参加者がすでに足りている場合は、個別参加として認める。
- 抽選にならなかった場合で、参加地区の方だった場合は、★と同様の対応。参加者が足りている地区だった場合は、個別参加となる。
- それぞれのお住まいが別々の地区だった場合は、個別参加とする。
- 大会及びルールの内容について、9月24日（木）に説明会を行う。

【注意事項イメージ】

①（同じ出場地区）

②（一部出場地区）

③（不参加地区）

A（西野）
B（西野）
C（西野）
D（西野）

A（大和）
B（沼田東）
C（深町）
D（久井）

A（久井）
B（久井）
C（久井）
D（久井）

- ①に対して、西野地区の参加を促す。①に了承のもと、西野の地区代表に連絡。
- すでにそろっていれば、3. に進む。そろっていなければ①は西野地区での参加
※②の場合は、出場地区に案内しない。ただし、抽選が外れた場合で、参加地区から
人数不足の連絡があれば、②に了承のもと、出場地区に案内
1. 2 をふまえ、①～③が個別出場になれば抽選。

【その他】

参加可能団体数はAクラス及びBクラスにつき1団体。

現地への送迎や参加助成はなし。参加は無料。

勝敗や得点、トロフィーなし。

個別参加としての紹介をアナウンスで行う。

待機場所はスタンドもしくは周辺の芝。

応募方法は三原市ホームページ内のフォーム。

ビブスは市で用意したものを使用する

申請フォーム（修正中）



第18回三原市民体育大会開催要項

1 趣 旨 三原市民の体力向上を図り、地域社会のスポーツ振興に資するとともに、相互の親睦を図ることを目的とする。

2 主 催 三原市・三原市教育委員会

3 後 援 三原市体育協会・やまみ三原運動公園指定管理者ポラーノグループ三原

4 日 時 令和8年10月11日（日）9：00～ 小雨決行

5 場 所 三原市沼田東町釜山10253番地1（☎0848-66-3900）
やまみ三原運動公園「やまみ三原市陸上競技場」

6 参 加 地 区

（1） 中 之 町 地区

（7） 幸 崎 地区

（2） 西 野 地区

（8） 皆 実 地区

（3） 田 野 浦 地区

（9） 糸崎・木原地区

（4） 須 波 地区

（10） 本 郷 東 地区

（5） 沼 北 地区

（11） 本 郷 西 地区

（6） 沼 田 東 地区

（12） 大 和 地区

リレー競技の統一ルール

- (1) 距離は全て一人100mとする。
- (2) スタート及びゴールは本部席側とする。
- (3) 第1走者のみ、第2コーナーまでセパレートコースとする。
- (4) 第2走者は、第1走者のスタートコース順でバトンパスを行う。第3走者からは、二つ前のコーナーのコーナートップ制とする。
- (5) 同一チームがスタートで2回フライングした場合は、失格としないで3回目は1m後方に下がってスタートする。更にフライングした場合は、これにならう。
- (6) スタートの際、グラウンドに穴をあけない。
- (7) バトンパスの時、予備ゾーンは使用しない。
- (8) コース内側にコーンを配置する。原則、コース内側のラインを踏み超えても失格とならないが、過度なラインの踏み越えやコーンに接触があれば失格となる場合がある。
- (9) 次の場合は失格とする。
 - イ. 故意に走路の侵害をしたり、故意に他のチームの走者にインターフェアのあった場合。故意の有無にかかわらずそのチームに著しく有利になる場合。
 - ロ. リレーゾーン(20m)外でバトンの受け渡しをした場合。
 - ハ. バトンを手渡さなかった場合。ただし、バトンパスの途中で落とした際に、バトンを投げて渡した等、明らかに故意的な違反でない限り、どちらがバトンを拾っても良い。

フィールド競技の統一ルール

- (1) スタートは本部席側とし、折り返しは観客席側とする。
- (2) スタートの合図は、「位置について」・「ドン(ピストル)」でスタートする。
- (3) 前・次走者とも、完全に5mのリレーゾーン内にいなければリレーできない。
- (4) ボールとバトンを受け渡す競技については、次走者は、リレーゾーン内でボールとバトンを持ってスタートしなければならない。もし、ボールが先にリレーゾーンを通過した場合は、次走者が取りに行ってもよい。
- (5) ボール競技では、ボールが観客席に入りそうなときは、役員がボールを止めてその位置から競技を再開する。観客席に入って投げ返された場合は、審判は競技者の近くにボールを投げ返すことができる。

共通ルール

- (1) スパイクは禁止とする。(陸上競技以外のスパイクも禁止)
- (2) 競技で使用する用具は主催者で準備したものを使用する。但し、玉入れ競争の玉、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ競争のゲートボール用スティックは各地区で準備しても良い。
- (3) オープン競技は、得点をつけない。
- (4) 競技で使用する用具が、選手の不可抗力により破損した場合は、運営が速やかに予備の用具を準備し続行する。なお、用具が届くまでは破損した用具で続行しても良い。但し、種目別のルールに記載してあるものは、そのルールに準ずる。
- (5) ルールから逸脱したとき、そのチームが著しく優位にならないと判断した場合は、失格としない。

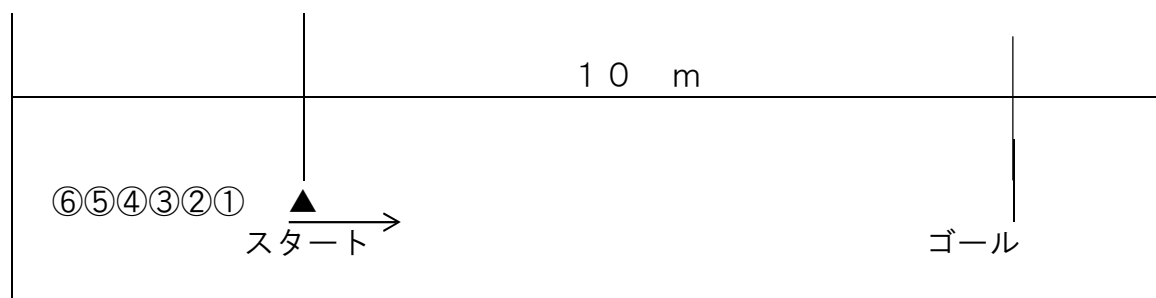
7 競技種目

☆ 幼児かけっこ（オープン競技）

○開始予定時間 9：35

○出場者 小学生未満 各地区10人以内

○競技方法 (1) スタート地点から10m先にあるゴールに向かって走る。
(2) ゴールしたら、参加賞を渡す。



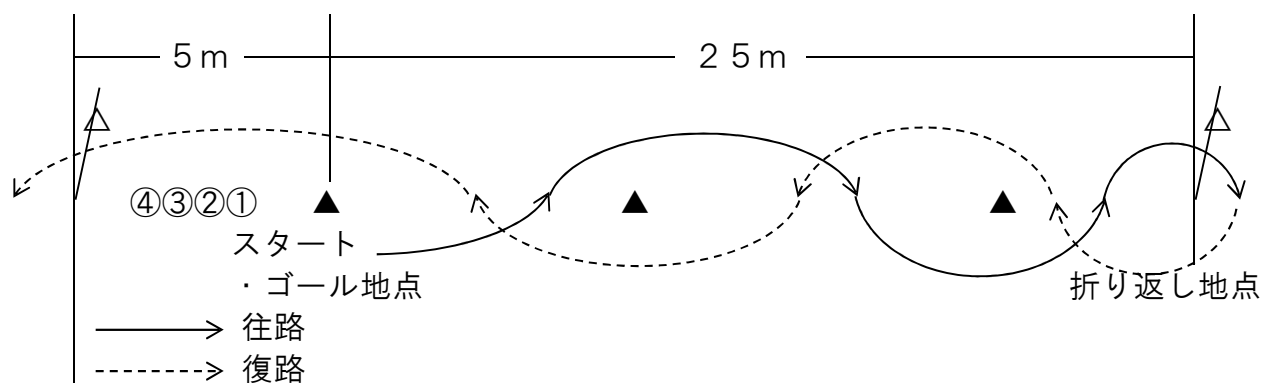
1 ジグザグボール蹴り競争

○開始予定時間 9：50

○出場者 小学生 2人（性別問わず） 20歳以上 女2人 計4人

○競技方法 スタート地点から10mおきにコーナーポスト
走間25m 後5m

- * 注意 1. 使用するボールは教育4号（ゴム製）とする。
2. 走る順番は各地域の自由



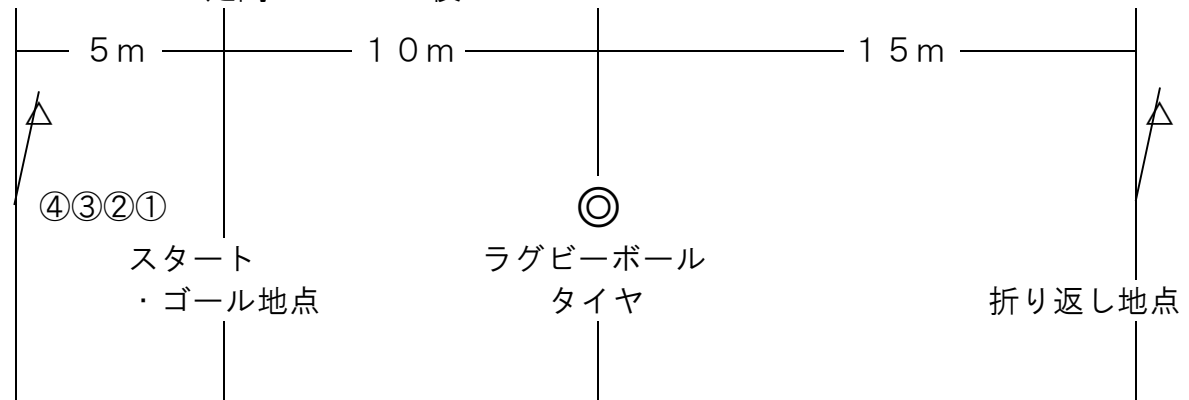
- (1) 走者は、サッカーボールをジグザグに蹴りながら往復し、スタートラインの後ろの旗を右から左回りに廻ってサッカーボールを次の走者に渡す。
- (2) 第1走者はコーナーポストの右側からスタートすることとし、ゴールはボール及び最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (3) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。
- (4) コーナーポスト及び折り返しの旗は、ジグザグに通過しなければならない。
- (5) 折り返し地点の旗は右廻り（時計廻り）、スタートライン後方の旗を廻る方向は左廻り（反時計廻り）となる。反対に廻った場合は失格となる。

2 ラグビーボール蹴り競争

○開始予定時間 10:05

○出場者 40歳以上 男4人

○競技方法 スタート地点から10mにタイヤ、ラグビーボール
走間25m 後5m



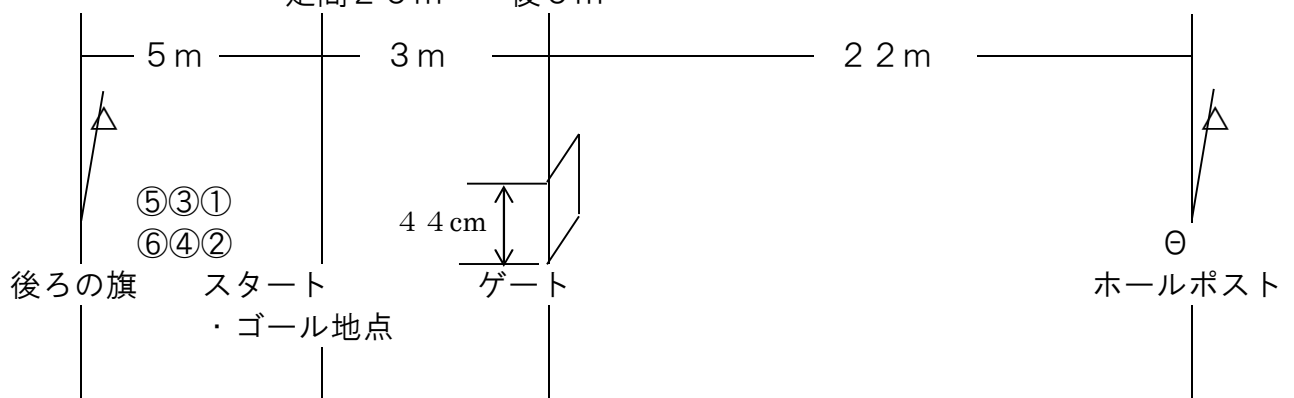
- (1) スタートしたら10m先のタイヤの中にあるラグビーボールを蹴りだし、15m先の旗を廻り蹴り出したタイヤの中にボールを入れ、スタートラインの後ろの旗を廻って次の走者にバトンを渡す。
- (2) 折り返し地点の旗の廻る方向は、自由とする。
- (3) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (4) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (5) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。

3 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ競争

○開始予定時間 10:20

○出場者 60歳以上 男・女各3人（※小学生2人男女問わず参加可能） 計6人

○競技方法 スタート地点から3mにゲート、22mにグラウンドゴルフ
ホールポスト、ボールはゲートボールを使用
走間25m 後5m



- (1) 「位置について」で打つ人（打者）はボールを置き、打つ構えまで行って良い。ボールを受ける人（次打者）はゲート後方で構えても良い。
- (2) ①打者はスタートライン上からゲートに向けボールを打ち、②次打者がゲート付近でボールが完全に通過するまで打者にボールを返す。
打者はそのボールをスタートラインから前で受け取ることができる。
ボールがゲートを通過したら、22m先のホールポストに向け、ボールを打つもしくはスティックで運び、ホールインさせる。打者はホールインしたボールを拾い上げ、スタートラインの後ろの旗を廻り、スティックとボールを次の打者に手渡す。

- (3) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (4) ゲート通過後ボールのスティックによる制御は自由。(動いているボールを静止しても良い。スティックのどの部分で打っても良い。)
- (5) 打者はスタートラインから前でボールを打ってはならない。片足はラインから出ても良い。
- (6) 打者はゲートを通過後、ホールインするまで、手でボールに触れてはならない。ボールポストにボールが入った後はスティックで止めても良い。
ホールインとは、ホールポスト内で完全にボールが停止した状態をいう。
まだ動いている状態で、ボールを拾い上げてはならない。
- (7) 走る順番は各地域の自由
- (8) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。

4 400mリレー

○開始予定時間 10:45 ○継走距離 400m

○出場者 30歳未満・30歳以上 男各2人 計4人

* 注意 選手登録後でも走る順番は各地域の自由
代替出場について

走者	30歳未満	30歳以上
代替出場	30歳以上	×

☆ フライング・ディスク (オープン競技)

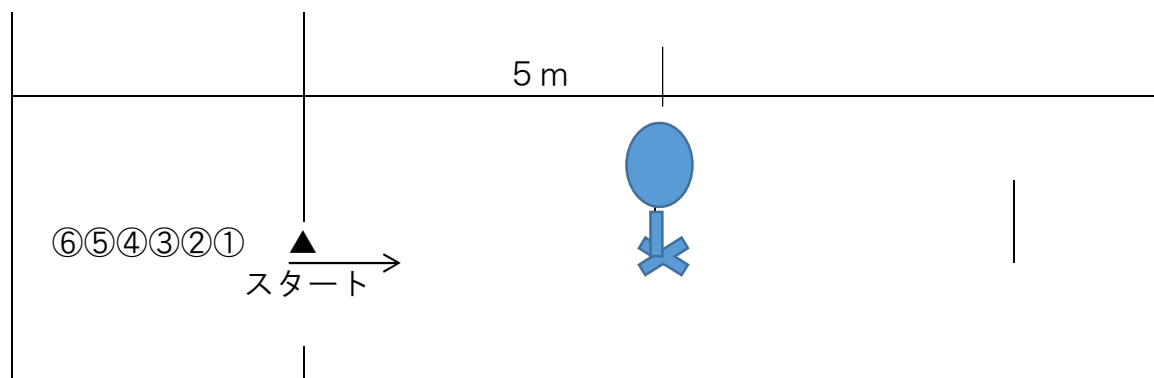
○開始予定時間 11:00

○出場者 三原市身体障害者福祉協会連合会から8人選出
各地区1人 計 24人

* 注意 1. 1コースから順にAクラス、Bクラス、障害者福祉連合会①、
障害者福祉連合会②とする。
2. 人数に偏りがある場合には、事務局にて補充し、
各コースが同人数となるように調整する。

○競技方法 スタート地点から5メートル先にゴール
ゴールは、直径(内径)0.915mの円形で円形の下部は地面から
0.61mの高さとする。

- (1) スタート地点から5m先にあるゴール(標的)に向かって、ディスクを一人
10回連続して投げる。
- (2) 得点は、ディスクが、地面に触れず直接ゴール(標的)を通過した回数とする。



5 玉入れ競争

○開始予定時間 11:20

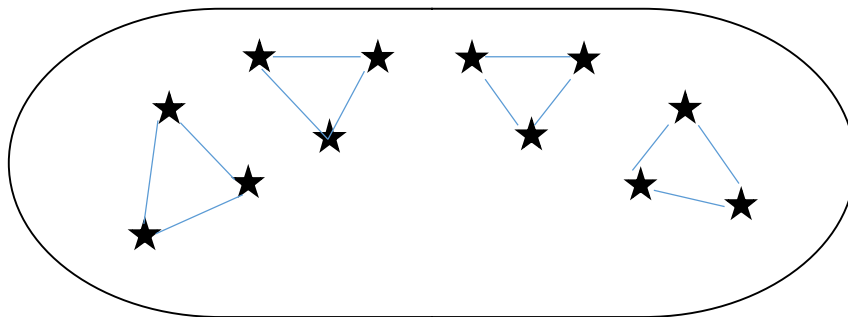
○出場者 年齢制限なし 女10人 男10人 計20人

○競技方法 高さ4.5m 45秒間 玉80個

- (1) 全クラス同時に女性・男性の順に各1回行う。
- (2) スタートの合図とともに、竿持ち以外の人全員が1回1個投げることとする。
(2個以上投げてはいけない。持つのも1個のみとする。)その後は自由とする。
- (3) 近隣の地区から転がってきた玉を、誤って自分のカゴに投げ入れた場合も有効。
- (4) 竿の位置は、各地区応援席前のフィールドとする。
- (5) 竿は主催者で用意する。
- (6) 玉は各地区で用意しても良い。(玉の大きさ、重さ等は自由、ボール類は禁止)
- (7) 竿持ちは2人以上、玉投げは8人以下とする。
- (8) 競技終了のピストルの合図後に入った玉は無効とする。
- (9) 竿は垂直に立てることとし、玉が入りやすいように故意に傾けてはならない。
- (10) 入退場は、応援席から直接行う。
- (11) 選手の数・玉の数等の確認は、スポーツ推進委員が行う。
- (12) 競技エリアには、補助者を除き、選手10名以外は入ってはいけない。

【参考】

玉入れ配置 ★が地区の位置

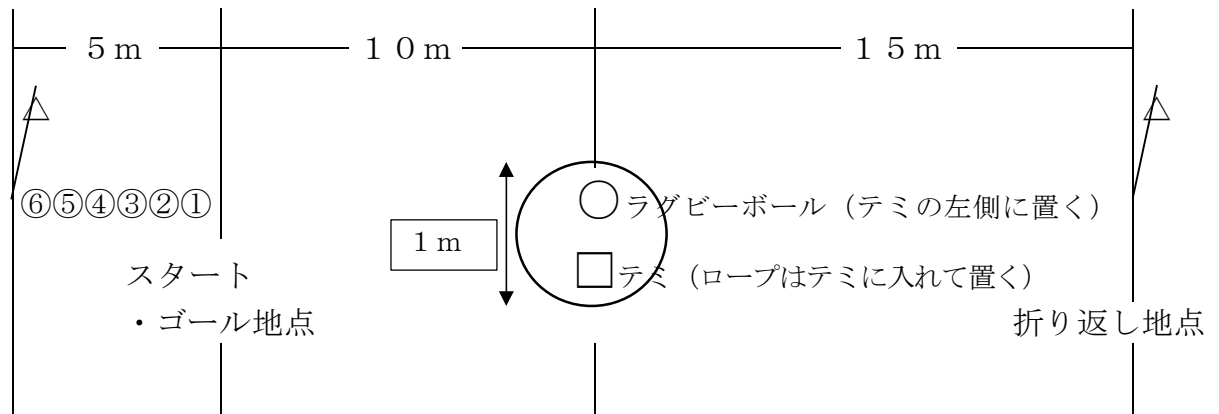


6 ボール運び競争

○開始予定時間 11:40

○出場者 男60歳以上・女50歳以上 各3人
(※小学生2人男女問わず参加可能) 計6人

○競技方法 フィールドでリレー形式により実施。



- (1) タスキをバトンとする。
- (2) テミにボールを入れ、テミからボールが落ちないようにテミを引く。
- (3) テミを引っ張る際は、ロープに取り付けられた塩ビパイプを持つ。(直接ロープを持つてはいけない。)
- (4) 折り返し地点を廻り、白線円内にテミとラグビーボールを置き、スタートライン後ろの旗を廻って、次の走者にタスキを渡す。(テミとラグビーボールは白線円内に入っていること。ロープについては白線円外でも良しとする。)
- (5) テミからボールが落ちた場合は、全て置いてボールを取りに行き、ボールをテミに入れてから引っ張る。
- (6) 折り返し地点の旗及びスタートライン後方の旗を廻る方向は自由。
- (7) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (8) 走る順番は男女関係なく自由とする。
- (9) 直接テミを持つこと及びテミから落ちていないボールを手で触れてはいけない。またボールを利用してテミの方向を変えてはいけない。
- (10) ボールが落ちにくくなるよう、テミにボールを立てかけてはいけない。
- (11) 白線円内において、手でテミやボールに触れてもよい。

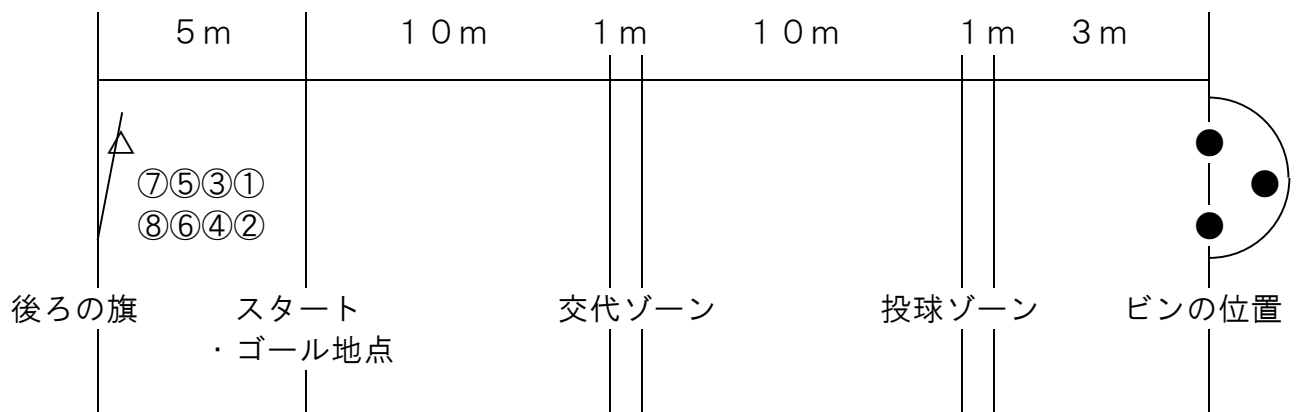
7 二人三脚むかで競争

- 開始予定時間 11:55 ○継走距離 400m
- 出場者 二人三脚競争 男・女20歳以上 各2人
むかで競争 男・女20歳以上 各5人 計 14人
- 競技方法 二人三脚競争～男女ペア2組(100m×2組)
むかで競争 ～男女各5人組(100m×2組)

- (1) スタート順は、二人三脚ペア組、むかでは女・男の順番により競技する。(二人三脚ペア2組の走る順番は自由とする。)
- (2) スタートのみ、セパレートコースを使用する。
- (3) 二人三脚で足を固定するハチマキは、2組とも始めから結んでおく。
- (4) むかで競争の競技中、足を固定しているハチマキが切れた場合、あるいはほどけた場合、リレーゾーンに到達するまでは競技を続行することとする。なお、ハチマキが切れた場合は、リレーゾーン内でロープの取り替えを行うこと。
- (5) むかで競争で、女から男にリレーするときに、足を固定するハチマキを結び代えるが、その際はほどく側も結ぶ側も自力で行い、他人に手伝ってもらってはいけない。
- (6) タスキをバトンとし、二人三脚からむかで競争へのタスキ渡しは、最前列者に渡すこと。
- (7) 最初女性のむかでから次男性のむかでにリレーする際のタスキ渡しは不要。(足を固定するハチマキがタスキの代わりとなる。)
- (8) 足を固定するハチマキは、故意にほどけやすいように緩く結んではならない。
- (9) ゴールは、最後尾者がゴールラインを通過したときとする。

8 ボウリング競争

- 開始予定時間 12:15
- 出場者 女 20歳以上 8人(※8人のうち20歳未満2人まで参加可能)
- 競技方法 スタート地点から10mに交代ゾーン。
走間20m+ピン3m 後5m



- (1) バドミントンのラケットにバレーボールを載せる。
- (2) ラケットは、グリップ部分以外を持ってはいけない。
- (3) ①は②と連手して、スタートから10mに置かれた交代ゾーンに入る。
(ボールが途中で落ちた場合、スタートから手をつないでいなかった場合や手が離れた場合は、スタート地点まで戻り1から再度スタートする。)
- (4) ①と②は、役割分担を交代して、さらに10m先の投球ゾーンまで行く。
(途中の失敗は交代ゾーンに戻り、再度スタートする。)
- (5) 走者は、投球ゾーンに入るまでボールに触れてはならない。
- (6) 投げ手は、いかなる場合も投球ゾーンから前に出てはならない。
- (7) 投げ手・受け手は①・②どちらがなくても良い。
- (8) 投球は、アンダースローで転がさなければならない。
ノーバウンドでピンに当たって倒れた時は、無効とする。
- (9) 投げ手は投球ゾーンに、受け手はビンの後に立ち、投げ手の投げるボールによって、3本のピンが全部倒れるまでボールを返す。全部倒れたら受け手はピンを元の位置に立て、ラケットとボールを持ち、投球ゾーンで連手してゴールラインの後ろの旗を廻って次の組に渡す。
- (10) 投球したボールが、自チームの選手や役員に触れた後にピンに当たり倒れた場合は無効。他のチームのボールにより倒れた場合は有効とする。
- (11) 選手はピンが倒れるまでは、身体のどの部分もピンに触れてはならない。
ただし、正規の投球により倒れたピンは競技に有利にならない範囲（前列のピンを中心にした半径1mの白線の後ろ側）で移動させても良い。なお、移動させるときに、誤ってまだ立っているピンを倒した場合、受け手がもとの位置に立てることとする。
- (12) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (13) ゴールは、連手した最終組の後ろの人の体がゴールラインに入った時とする。
- (14) 投げ手と受け手は交代することができる。
交代する時は、受け手が投げ手のいる投球ゾーンへ入った後に、元の投げ手が受け手の位置へつき、競技を再開する。
投げ手と受け手の交代する時のボールは、投げ手・受け手どちらがもっていてもよい。

9 総 合 リレー

- 開始予定時間 12:30 ○継走距離 1、800m
 ○出場者 男10人・女8人 計18人
 ○走る順 (★印スタート本部側)
 ○走順が分かるように、No9の走者は青色、No13の走者は赤色、アンカーは黄色のタスキを着用すること。
 ○該当年齢の選手が選出できない場合は、20歳を頂点として代替出場を認める。
- 小学生 中学生 20歳未満 20歳以上 30歳 40歳 50歳
 → → → → △ ● △ ← ← ← ← ←

走者	小学生	中学生	16～30歳未満	30～50歳未満	50歳以上
代替出場	×	×	小中学生又は30歳以上	50歳以上	×

	No	走 者	性	距離		No	走 者	性	距離
★	1	小学生	男	半周	★	11	16～30歳未満	男	半周
	2	〃	女	半周		12	〃	女	半周
★	3	〃	男	半周	★	13	30～50歳未満	男	半周
	4	〃	女	半周		14	〃	女	半周
★	5	中学生	男	半周	★	15	〃	男	半周
	6	〃	女	半周		16	〃	女	半周
★	7	〃	男	半周	★	17	50歳以上	男	半周
	8	〃	女	半周		18	〃	男	半周
★	9	16～30歳未満	男	半周					
	10	〃	女	半周					

最終判定

失格かどうかの判定は、審判長が決する。
 その判定に不服の場合は、地区代表者が最終判定審判員に申し出る。
 最終判定審判員は、地区代表者と審判長よりそれぞれ事情を聴取して判定する。
 この判定は最終判定とする。

円滑な競技運営

競技の進行について遅滞する状況が生じても、円滑な競技運営を図るために、順次競技を続行することとする。(荒天・事故等を除く。)
 なお、この場合の決定は、閉会式までに行うこととする。

8 採点方法

- (1) 組合せはAクラス地区、Bクラス地区の2組に分ける。
- (2) 各組で順位を決め、採点する。
- (3) 得点 1位＝6点 2位＝5点 3位＝4点
4位＝3点 5位＝2点 6位＝1点
注意：同順位の場合は、両者の得点を合計して2で割る。
(例：玉入れの数が3位と4位が同数だった場合、3位(2点)＋4位(1点)
＝3点÷2＝1.5点に参加点1点を追加する。
総合リレーは、上記の2倍とする。
- (4) 参加点 競技に参加すれば、1種目につき参加点を1点とする。この参加点は、(3)の得点に加える。
- (5) 次年度の大会では、Aクラスの下位2チームがBクラス、Bクラスの上位2チームがAクラスとなる。ただし、各クラスの地区数に不均衡が生じる場合は、変更する場合がある。

9 表 彰

- (1) 地区対抗クラスの部(A・B各クラスごとに)
 - ・ 1位 カップ・賞状・楯・賞金
 - ・ 2位 賞状・楯・賞金
 - ・ 3位 賞状・賞金(1クラス6地区の場合)※得点が同点の場合は、当日大会競技における1位の多いものを上位とする。
1位同数の場合は2位の多いものを上位として、以下これにならう。
- (2) 各競技の優勝地区(各クラスごと)には賞状を大会終了後に授与する。

10 参加選手

- (1) 出場選手は、1人何種目も兼ねてもよい。
- (2) 出場選手の資格は、9月27日までにその地区に住民登録し、居住している者。
- (3) 年齢は、満年齢により「大会当日現在」とする。
- (4) 補員は、各競技種目について2人以内とする。ただし、総合リレーについては、各区分に1人の補員を認める。(申込書の補員記入枠以内)
- (5) 正選手・補員以外は出場できない。
- (6) 鷺浦地区については、鷺浦小学校へ通う他地区の児童・保護者の参加を認める。
- (7) 参加人数が揃わない地区については、その地区へゆかりのある人及び家族の参加を認める。

11 注意事項

- (1) 選手名簿は年齢及び性別のみとする。
- (2) 選手は、胸・背部に縦15cm×横20cmの地区名入りのゼッケン又は、地区名を明記したユニホームを着用すること。
- (3) 競技中の傷害などは、一応の応急措置はするが、それ以外の責任を負わない。
健康に異常があるときは、参加してはならない。
- (4) 選手は、競技開始前20分に集合場所に集合を終え、点呼を受けること。
- (5) 継走種目の第1走者は、セパレートコースを走り、第2走者からオープンコースとする。
- (6) 各競技において、本要項の年齢等に該当しないものが出場した場合は、当該種目

については失格するものとする。

- (7) 選手の失格を予防するための補助者の出場を2名以内で出場可能とする。補助者は、競技場内で、自地区の選手に対し、ルール違反を防ぐための声かけを行うことができる。ただし、競技中、故意に競技道具に触れて競技に関わった場合や、その他の地区が不利になるような行為があった場合は、該当地区を失格とする。また、補助員を設けることは任意とする。なお、声かけの結果、競技に違反が起きた場合は失格となる場合がある。

三原市民体育大会 リレーのルールについて

改定1 : 2026年 7月 15日

作成 : 2024年 7月 14日

1. ルール

(1) 走るコース

- ①1走…セパレートコースを走る
- ②2走以降…オープンコースを走る

用語

コース…レーンと同じ。
この資料では
「コース」として
表記。

(2) 中継(リレー)

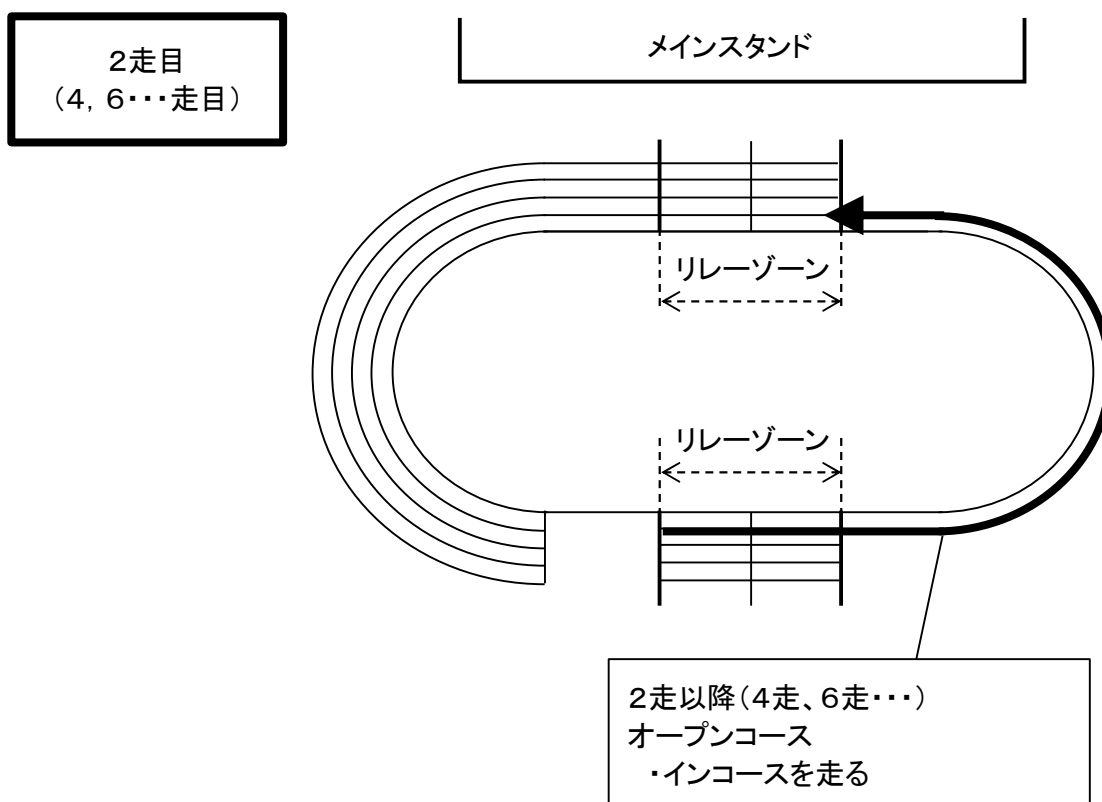
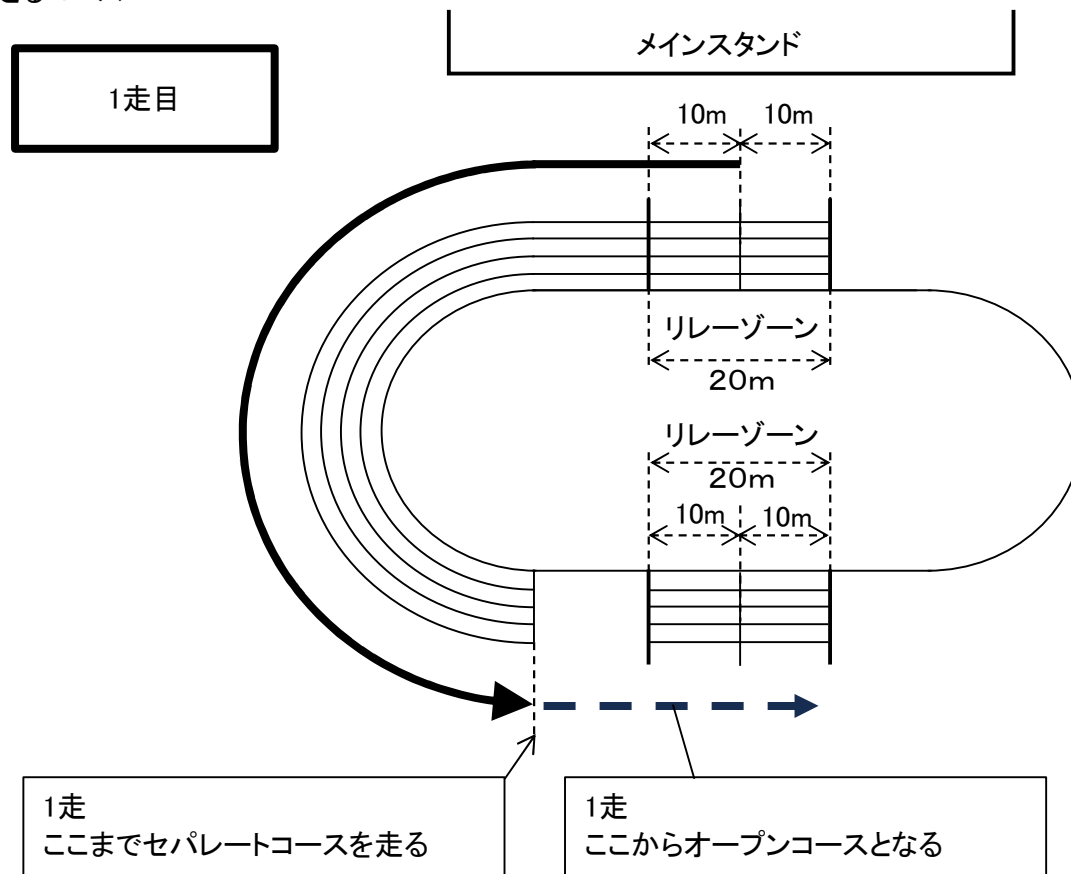
- ①2走目以降は、リレーゾーンの中からスタートする
- ②2走目以降の並ぶ順番
 - ・2走目は、コース順番に並ぶ
 - ・3走目以降は、コーナートップの順番で並ぶ
- ③バトンパス
 - ・バトンがリレーゾーン内にあればOK。
 - (走者がリレーゾーンからでも、バトンがリレーゾーン内に入っていればOK)
- ④バトンを渡したら、走者はコースの内側へ

(3) バトンを落としたら

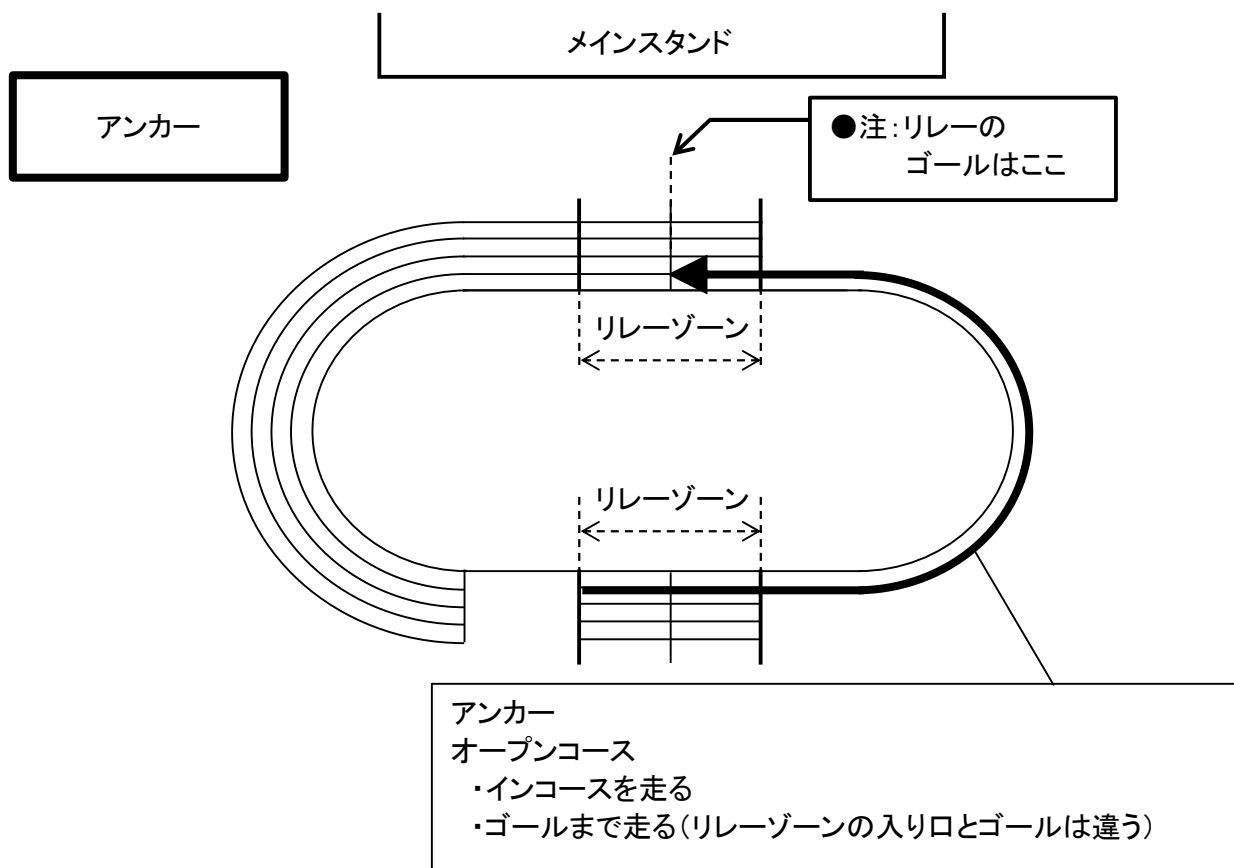
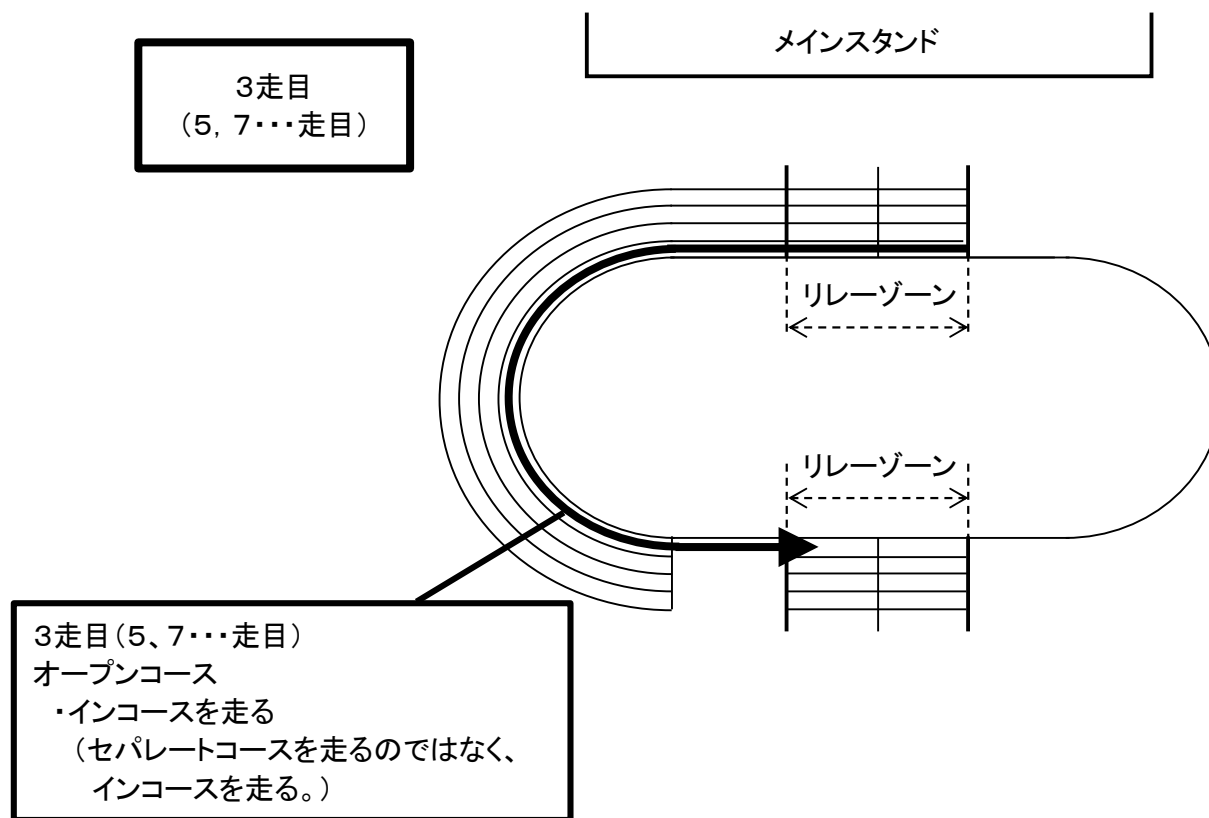
- ①渡している途中で落としたら、渡す走者が拾って、落とした場所に戻って渡す。
- ②完全に渡した後で落としたら、受け取った走者が拾って、落とした場所に戻って渡す。

2. 詳細

(1) 走るコース

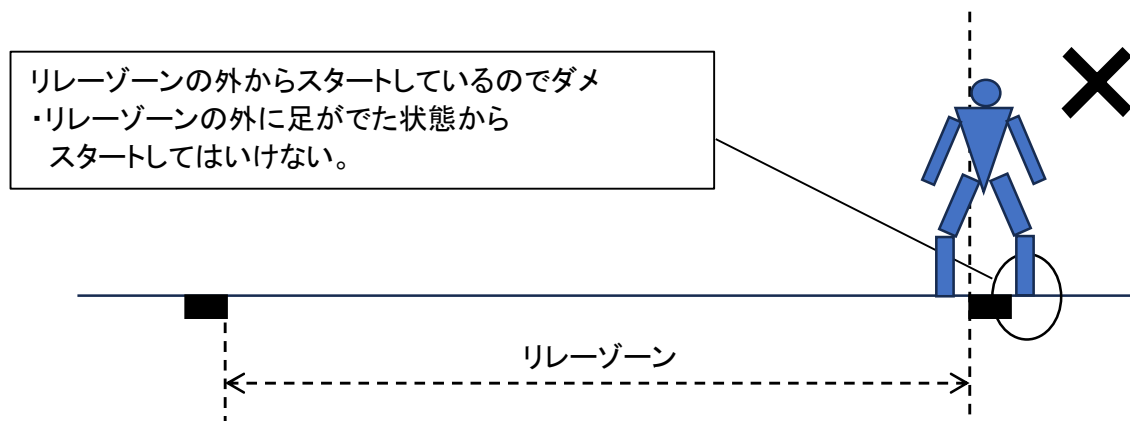
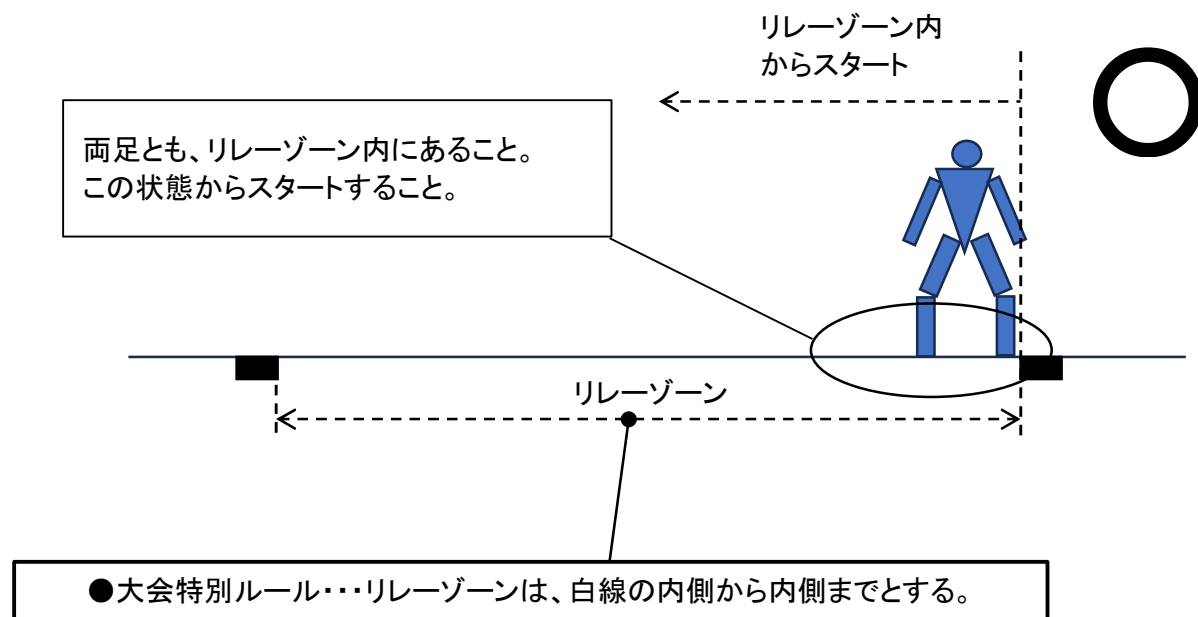


(1) 走るコース



(2) 中継(リレー)

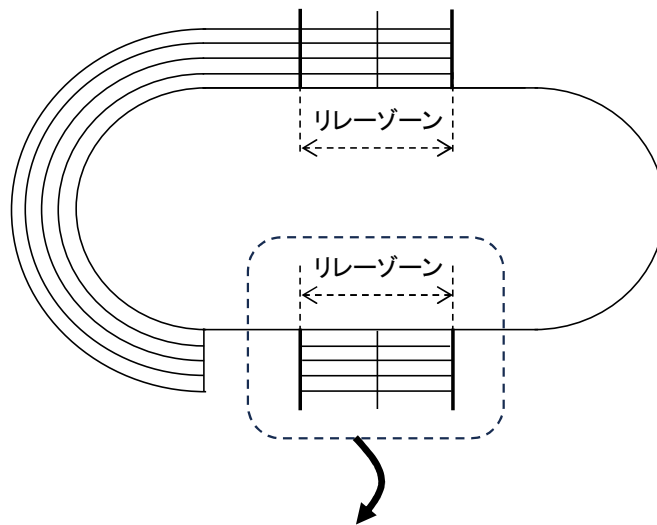
①リレーゾーン内からスタートする



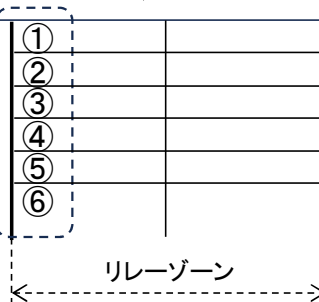
②2走目以降の並ぶ順番

2走目のみ

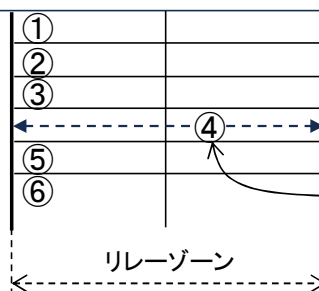
メインスタンド



2走目は、コース順番に
各コースに並ぶ
●注
2走目は、順位では並ばない。



次の走者のスタート位置



◆以下は3走目以降も同じ

リレーゾーンの中であれば
どこからスタートしても良い。

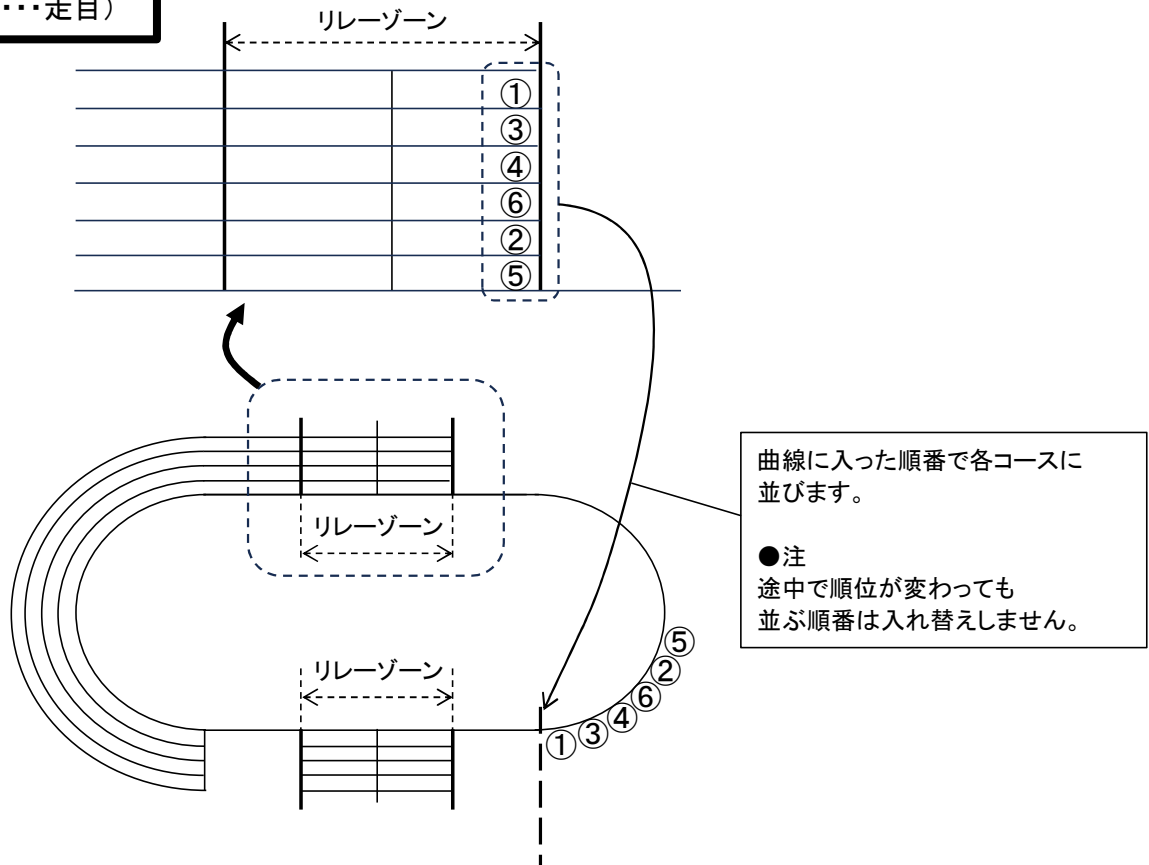
●大会特別ルール

- ①バトンを受け取るまでは、
自分のコースからでたらダメ。
- ②バトンを受け取ったら
インコースに入って良い。
- ③自分より内側のチームが
バトンパスしたら内側の
コースに移動しても良い。

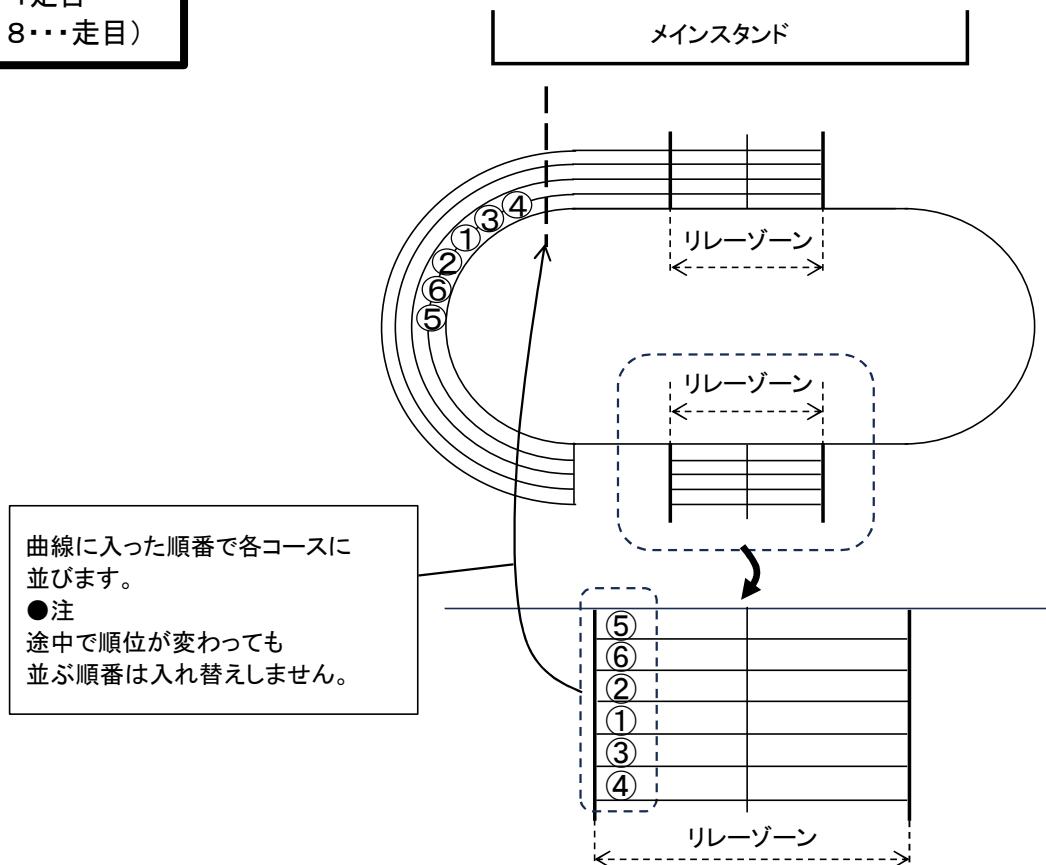
●注

- ・上記大会特別ルールについては、違反をとらない。
但し、違反して他チームの進路妨害等の不利益と
なった場合は違反をとる。
- ・スポーツ推進委員、審判等から上記内容の指示が
あった場合は従うこと。

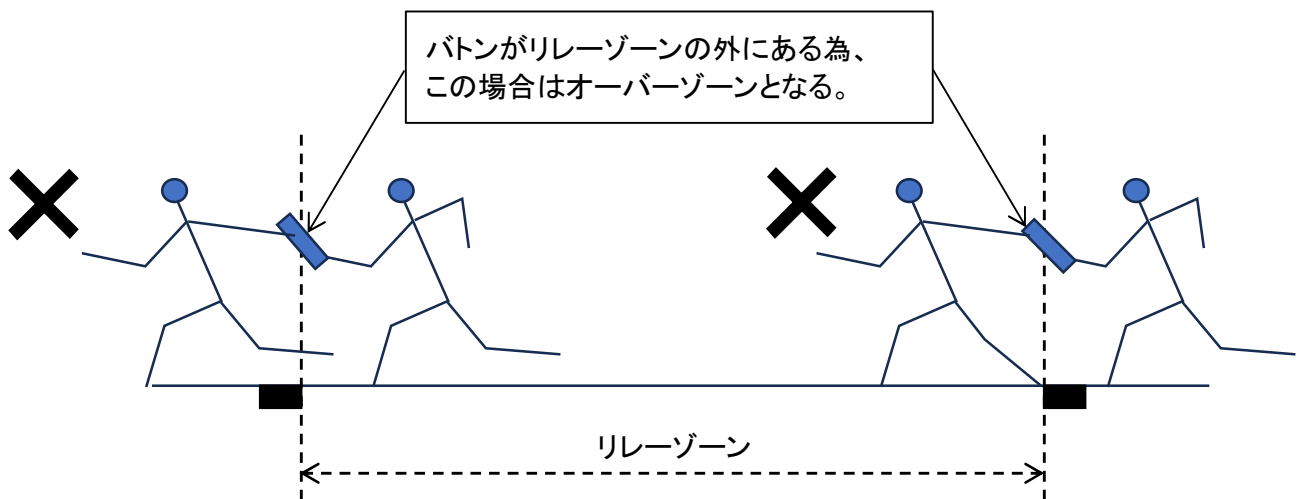
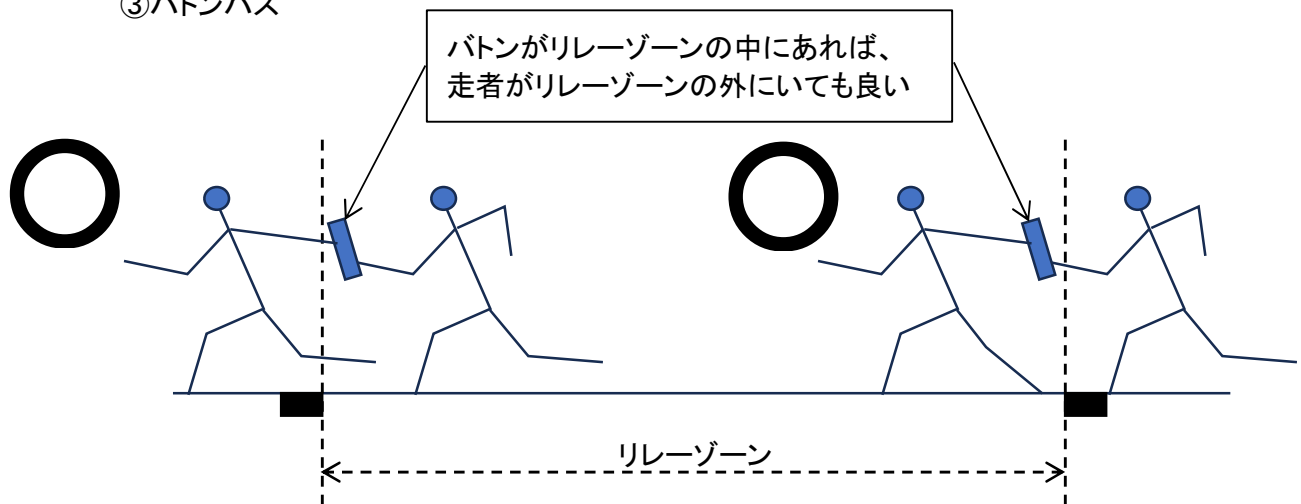
3走目
(5、7…走目)



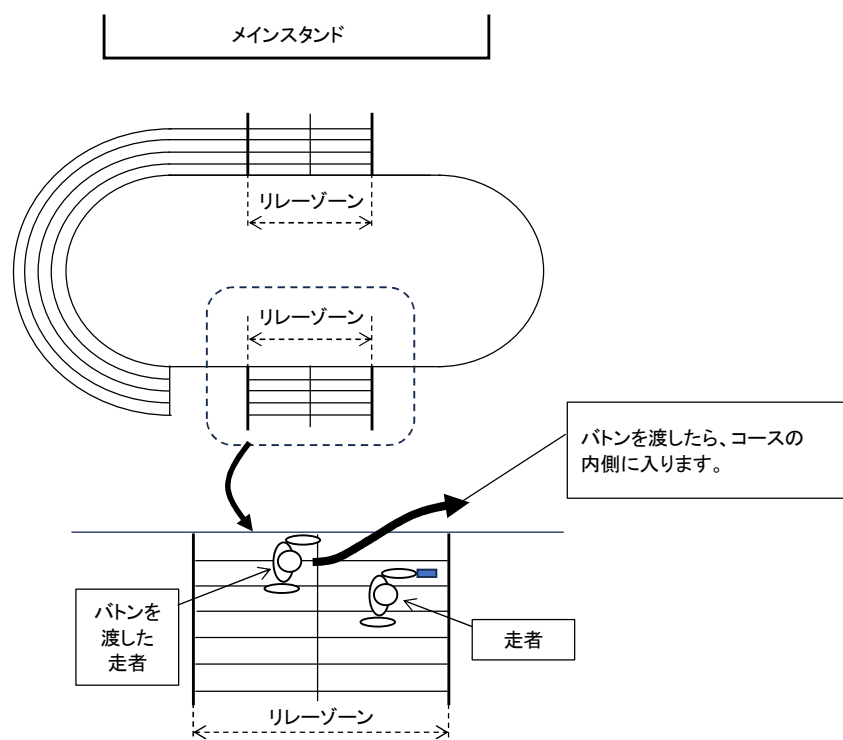
4走目
(6、8…走目)



③バトンパス



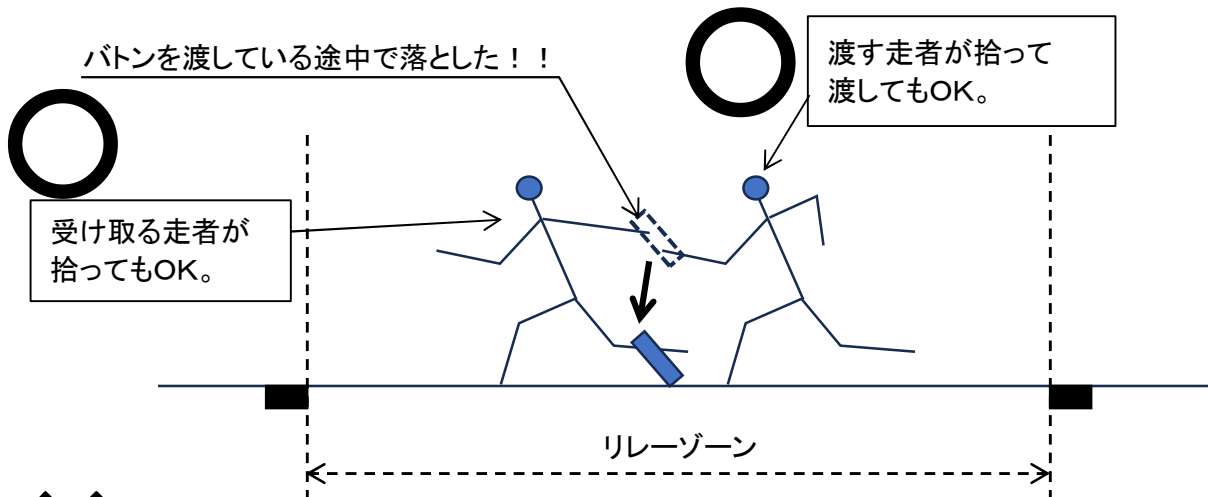
④バトンを渡した後は、コース内側へ



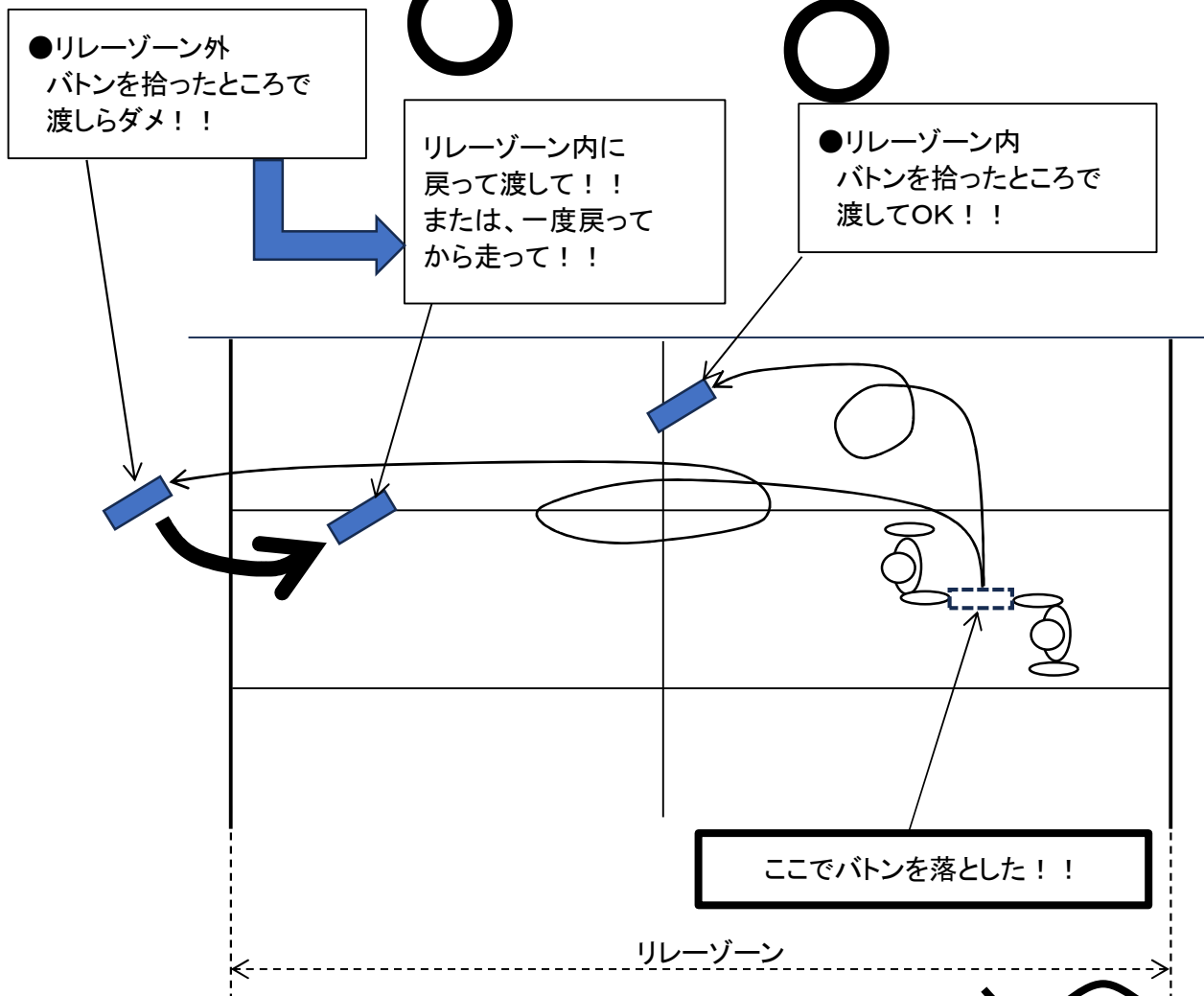
(3) バトンを落としたら

- ① バトンを渡している途中で落としたら
…2人がバトンに触っている場合は
⇒どちらが拾っても良い。

- リレーゾーン内で拾った…拾った位置で渡してOK！！
- リレーゾーンの外で拾った…リレーゾーン内に戻って渡せばOK！！
- 拾ったところで渡したらダメ！！



×



- ②バトンを完全に渡した後に落としたら
⇒受け取った走者が拾って、そのまま走ってもOK。

